

4/8 早稿

コロナ感染3千人超

第4波鮮明、大阪最多878人

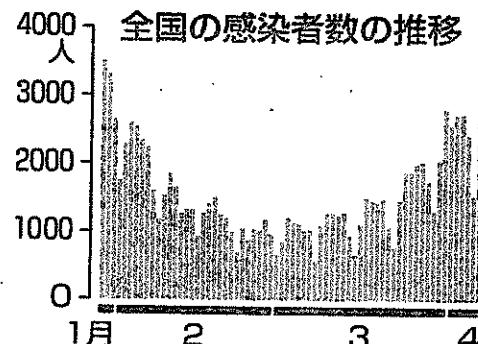
国内で7日、新たに三千四百五十一人の新型コロナ

ウイルス感染者が確認された。三千人超は一月三十日以来。大阪で過去最多の八百七十八人が報告されるなど関西圏での急増が目立ち、首都圏でも悪化。新潟、兵庫、奈良、和歌山でも過去最多を更新し、感染拡大「第四波」の様相が全国で鮮明になった。小池百合子東京都知事は、まん延防止等重点措置について「政府への要請の準備に入る段階にある」と述べた。

新型コロナ関連⑨⑩面
政府の新型コロナ感染症対策分科会の尾身茂会長は衆院厚生労働委員会で、重い変異株によつて、第

四波による死者は第三波を上回る恐れがあるとも述べた。大阪での急激な感染拡大に関しては「変異株の影響が多いある可能性は否定できないが、主たる原因は人々の行動だ」との見方を示した。

厚生労働省に新型コロナウイルス対策を助言する専門家組織は7日、大阪周辺の京都、奈良、和歌山でも感染が急速に拡大している



とする分析結果を発表。変異株の拡散を防ぐため、不要不急の外出や移動を避ける対策が必要とした。

記者会見で座長の脇田隆字国立感染症研究所長は、東京でも変異株の割合が高まっており「迅速な対策が必要との意見があった」と明らかにした。東京の七日の新規感染者数は五百五十五人。五百人を上回ったのは二月六日以来。

大阪では、重症者用の病床使用率が70・5%となつた。府は対策本部会議を開き、独自基準「大阪モニアル」の警戒度を最高の「赤信号」に引き上げ、医療非常事態宣言を出した。